



地域産業の発展と地域金融機関の取組み

平成22年4月26日公表
北海道財務局

問い合わせ先
理財部 金融監督第一課
内線 4355

※記載されている内容は、おおむね4月中旬までに得られた情報に基づくものです。

ロシア・サハリン州との経済交流に関する金融機関の取組み①

- ・ 北海道の近隣に位置するロシア・サハリン州は、大型エネルギープロジェクトの進展や連邦政府における極東地域政策の強化によりインフラ整備が進められ急激に成長。
- ・ こうした状況下、建設などの分野を中心に、道内企業の進出が相次いでいる。

◎サハリン経済指標等の推移 (単位:対前年比、%)

	H17	H18	H19	H20
鉱工業生産	12.7	28.1	2.1倍	▲13.0
実質所得	12.1	13.6	9.9	6.7
小売商品売上高	14.6	18.9	7.5	15.6
全住宅建設面積	▲24.4	48.2	60.5	41.0

※出所:JETRO、北海道経済産業局



ビジネスの発展可能性

- サハリン I・II の生産本格化に伴い、引き続き住環境などのインフラ整備が見込まれる



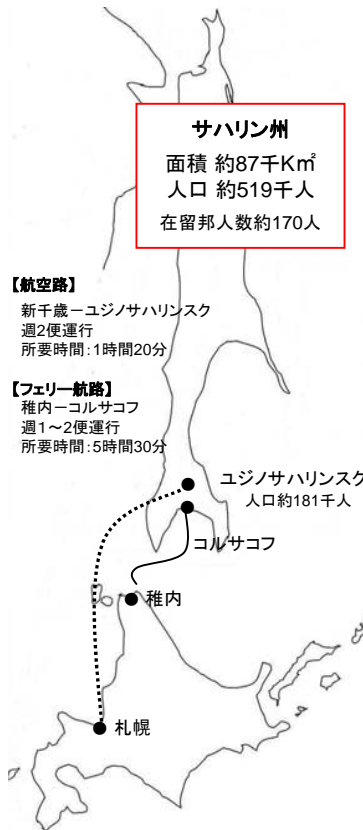
道内企業の進出分野と優位性

- 以下の分野で道内企業の進出が見込まれる
- ・ **住宅関連**
⇒ 寒冷地仕様や耐震性での優れた技術、資材
- ・ **自動車関連**
⇒ 根強い日本車需要と優れたメンテナンス技術



最近の道内企業の進出事例

- ◆ 道内9建設会社が参入した合弁会社がマンスリーマンションを建設して英国系企業に棟ごと賃貸(H20.2)
 - ◆ 道内企業が供給した断熱パネルを活用した戸建て住宅をサハリン州の企業が販売開始(H21.2)。現在までに3棟受注
 - ◆ 道内企業とサハリン州の自動車販売会社との間で、中古車販売に関する業務提携締結(H21.6)
 - ◆ サハリン州と道内建設会社が提携し建築した高級戸建て住宅のモデルハウスが完成(H21.9)。現在までに7棟受注
- ※上記は、いずれもユジノサハリンスクへの進出事例



サハリンプロジェクト

- 【サハリン I】** H14~18年 第1フェーズ
・ 北部の3鉱区から採掘した原油・天然ガスをサハリンを横断して大陸部までパイプラインで運搬
⇒ H17.10 国内向け原油生産開始
⇒ H18.10 原油輸出開始
- 【サハリン II】** H15~20年 第2フェーズ
・ 北部の2鉱区から採掘した原油・天然ガスをサハリンを縦断して南部までパイプラインで運搬、タンカーで輸出
⇒ H20.12 原油の出荷開始
⇒ H21.3 液化天然ガスの出荷開始

- 【サハリン III】** H21~
・ 北部の3鉱区で原油・天然ガスを採掘する計画
⇒ H21.7一部鉱区で坑井の掘削を開始

プロジェクトへの参入状況

- ・ プロジェクトの事業主体は露英米日などの大手企業
- ・ 道内企業のプロジェクトへの参加はごく僅か



サハリン II のLNG・原油出荷プラント



道内企業が建築した高級住宅

ロシア・サハリン州との経済交流に関する金融機関の取組み②

- ・ 北海道銀行では、サハリンビジネスの発展可能性に着目し、駐在員事務所を創設するなど体制面を強化。
- ・ 販路拡大や進出のニーズがある道内企業に対して、融資や情報提供等のサポートを積極的に行っている。

《連携先》

ロシア連邦外国貿易銀行
サハリン州行政府

極東ロシア企業

日本製品・技術の調達ニーズ
日本への販売拡大ニーズ

新たな取引機会の創出

- ・ 送金決済業務
- ・ 外国為替業務
- ・ ビジネスマッチング業務
- ・ 融資・投資業務
- ・ コンサルティング業務



国際部ロシア室(3人体制)

ユジノサハリンスク
駐在員事務所(4人体制)

邦銀でサハリン
唯一の拠点

ロシア極東販路拡大ニーズ
仕入先発掘・進出ニーズ

道内取引先企業

サハリン州と地域銀行との関わり

- ◆ ユジノサハリンスクに設立された北海道ビジネスセンターに北洋銀行が職員を派遣 (H13.4)
- ◆ みちのく銀行、ユジノサハリンスク支店を開設 (H14.8)
- ◆ みちのく銀行、ユジノサハリンスク支店を閉鎖 (H19.12)

北海道銀行の取組み

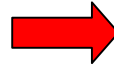
- ◆ サハリンウエスト銀行と業務提携(H16.7)
- ◆ 『道銀サハリンビジネスサポートファンド』を創設 (H17.2)
- ◆ ロシア連邦外国貿易銀行との提携による送金ルート構築(H21.1)
- ◆ ユジノサハリンスクに駐在員事務所を開設(H21.3)
- ◆ 「ロシア極東ビジネス交流会」を主催して道内企業64社が参加 (H21.10)
- ◆ サハリン州政府と経済協力協定を締結(H22.2)
- ◆ 「極東ロシアビジネスフォーラム」を札幌で開催 (H22.5予定)

北海道銀行の 個別取組み事例

- ① 道内企業がユジノサハリンスクで手がけた住宅建設事業に際して、外為取引、融資を実行。
- ② ユジノサハリンスクの自動車会社と提携して中古車輸出を行う道内企業に対して、外為取引を実行。
- ③ 日用品、住宅建材などの輸出を検討している道内企業に対して、ユジノサハリンスクのホームセンターや大手建設会社を紹介。

「北海道コスメ」のブランド化への金融機関の取組み①

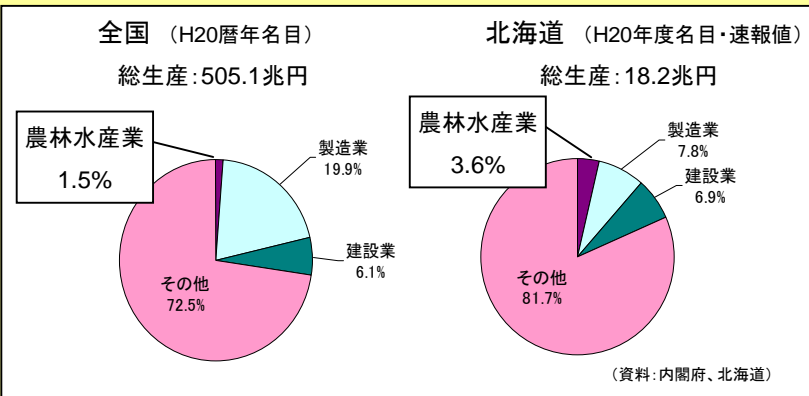
・北海道は第一次産業のウェイトが高く、バイオ分野に活用される原材料が豊富で、調達も容易である。



・北海道は全国的にも屈指のバイオ企業集積地域であり、売上げも毎年増加するなど、順調に成長している。

第一次産業のウェイトが高い

総生産に占める第一次産業の割合



農水産物の高付加価値化

豊富な農水産資源

	全国	北海道	シェア	県別順位
農業産出額 (H20年)	86,509億円	10,251億円	11.8%	1位
海面漁業・養殖業生産額 (H20年)	15,423億円	2,958億円	19.2%	1位

(資料: 農林水産省)

北海道が生産量全国一の農水産物の例 (H19年)

農産物名	シェア	水産物名	シェア
甜菜(砂糖大根)	100.0%	ホタテ貝	99.2%
馬鈴しょ	79.3%	昆布	94.9%
小麦	63.9%	鮭	80.7%

(資料: 農林水産省、北海道)

バイオ産業の発展

バイオ企業の集積 (H19年バイオベンチャー企業数)

順位	都道府県名	バイオベンチャー企業数	シェア
1	東京都	167社	28.9%
2	神奈川県	58社	10.1%
3	北海道	44社	7.6%
4	大阪府	34社	5.9%
5	兵庫県	30社	5.2%

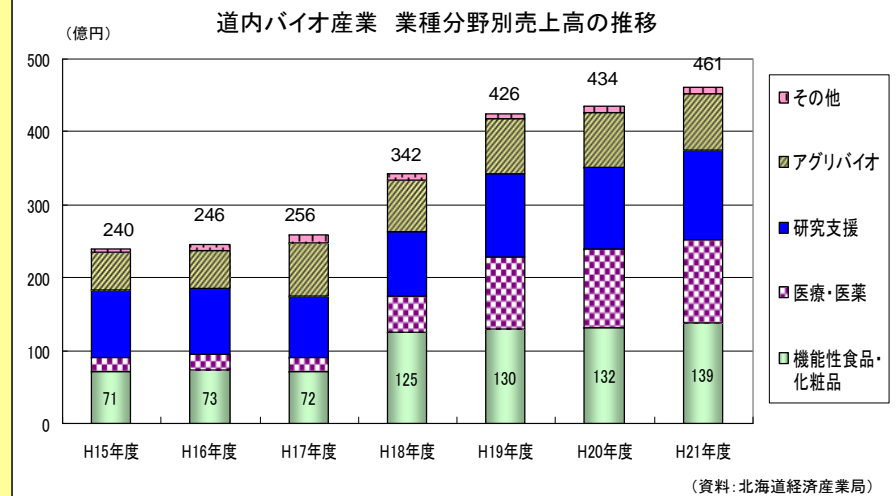
(資料: 財団法人バイオインダストリー協会)



「バイオ」とは？

バイオテクノロジー(生物工学)の略。生物学の知見を元に、実社会に有用な利用法をもたらす技術の総称。

バイオ産業の順調な成長



「北海道コスメ」のブランド化への金融機関の取組み②

- ・従来からの機能性食品と同様、道産の食材等を活用した化粧品が最近注目されるようになり、平成21年2月には北海道庁が「北海道コスメ」としてブランド化を立案、賛同した企業や道内地域金融機関が連携し、ブランド力向上に取り組んでいる。
- ・道内地域金融機関は、商談会での「北海道コスメ」コーナー設置やバイヤーへの紹介などで、販路拡大支援等を行っている。

道産食材等を利用した化粧品

安心・安全



豊富な資源

課題は...
ブランド力不足

(北海道庁)
総称してブランド化



北海道コスメ

創業支援
販路拡大支援

(商品例)

企業名 (所在地)	商品名	特徴	効能
(株)アビサル・ ジャパン (札幌市)	スイーツ・ スキンケア・ シュクレ	砂糖大根を主原料に、砂糖の粒 を天然植物オイルでコーティング したスクラブ(粒子状のパウダー)	肌の保湿
(株)活里 (札幌市)	北耀華 (ほくようか)	ガゴメ昆布、知床羅臼の海洋深 層水、ホタテ貝殻のセラミック水 を配合した化粧水・シャンプー	肌・髪の保湿 (昆布)、傷み を整える(ホタ テ)
(株)リクリエイト (札幌市)	N43°	鮭由来のコラーゲン、白樺樹液を 配合した自然派基礎 化粧品	肌のハリ・ツ ヤ(アンチ・エ イジング)
(株)北見ハッカ 通商 (北見市)	ミント・クリー ム	天然馬油(バーユ)にハッカを配合 したクリーム	肌の保湿
(株)コスメテック 札幌 (札幌市)	増毛町の願 い	増毛町の伏流水、カバノアナタケ (白樺の幹に生えるキノコ)、柑橘 エキスを配合したヘアローション	フケ・カユミ・ 抜け毛予防

(道庁HP掲載のリスト等から選別)

道内地域金融機関の取組み

北洋銀行

- ・「インフォメーションバザール in Kansai」(H21年2月・大阪にて開催)において、「北海道コスメコーナー」を設置。
- ・創業時の資金支援を実施。
- ・今後はボトルやパッケージ等の改善に向けてデザイン会社を紹介するなど、商品力向上の支援を予定。

北海道銀行

- ・個別企業ごとに、百貨店・高質スーパー等とのビジネスマッチングを推進。
- ・事業計画立案やマーケットリサーチに関して、専門のコンサルタント会社を紹介。

信用金庫

- ・「しんきんいいものフェア2007」(道信金協会主催、H19年10月・札幌にて開催)において、地方の食品製造業者が自社開発の化粧品を展示。

札幌中心部「旧たくぎん」跡地に新たなランドマーク誕生(北洋銀行本店ビル)

- ・北洋銀行、商業施設、オフィスが入居する大規模複合ビルとして平成22年3月に竣工
- ・商業施設は「ODORI BISSE」(大通ビッセ)」と称し、北海道内のスイーツショップを集めるほか、来年3月に完成を予定している札幌駅前通公共地下歩行空間と接続されるなど、札幌大通地区活性化の役割を果たすものと期待されている。

